

フジレポート2022

FUJI CORPORATE REPORT 2022



この街に、あつてよかった。



フジレポート2022

FUJI CORPORATE REPORT 2022

地域とともに、暮らしをつくる。



2022年、フジは創業55周年を迎えます。

設立時に掲げたのは、「地域社会への貢献」そして「豊かな暮らしの推進」。

半世紀以上が経った今でも、この精神を受け継ぎ、

地域のお客様と一緒に「暮らし」をつくっていくことを目指しています。

店頭の価値づくり、移動スーパー等、従業員のお客様視点の育成…

様々な取り組みを通して、目指しているのは「この街に、あってよかった。」

これからもフジは、変わらず店頭を磨き続け、地域と、人と、暮らしを支えていきます。

そして2024年、フジはマックスバリュ西日本株式会社と経営統合します。

「地域と暮らしに貢献したい」と考える2社がタッグを組むことにより、

地域を守るだけでなく、社会課題の解決にも積極的に取り組んでいきます。

FUJI NEXT VISION …… 01~08

代表取締役会長 尾崎 英雄 …… 06

代表取締役社長 山口 普 …… 06

1 地域とお客様の暮らしをサポート

商品・サービスの開発 …… 09

価格と価値への取り組み …… 11

サプライチェーン機能の強化 …… 13

施設・環境改善 …… 15

ノンストアリテイル事業の強化 …… 16

2 未来のお客様と地域を考える

フジの環境問題への取り組み推進 …… 17

脱炭素社会に向けた

省エネ・再エネの推進と環境負荷の低減 …… 18

循環型社会の実現に向けた

廃棄物の発生抑制とリサイクルの推進 …… 19

地域の皆様とともに行う環境活動の推進 …… 20

地域を守るライフラインの拠点づくり …… 21

お客様・取引先様との信頼関係の強化 …… 22

3 お客様と従業員をもっと笑顔に

お客様をもっと笑顔に～魅力ある店舗づくり～ …… 23

デジタル化の推進～便利な店舗づくり～ …… 24

創業55周年感謝をこめて

～もっと、この街の声をかたちに～ …… 25

従業員をもっと笑顔に

～働きやすい職場づくりと人材育成～ …… 27

グループ企業との連携 …… 29

IR情報 …… 31

ガバナンス推進体制 …… 33

私たちが大切にしたいのは、 地域のお客様と一緒に 「暮らし」をつくること。

お客様のライフスタイルは変化し、その購買行動も多様化しています。新たな時代のニーズに挑戦しながら、私たちが変わらず大切にしたいのは、地域のお客様と一緒に「暮らし」をつくること。もっと！「この街に、あってよかった。」を目指して、着実に、誠実に、店頭の商品を磨き続けていきます。

これまで、これからも
「暮らし」をつくる存在でありたい

昨年度は、新型コロナウイルス感染症への対応が始まって2年目を迎えました。未知の脅威に晒された前年と比較する

と、お客様動向の的確な把握や、感染状況の変化による購買行動の予測など、スピーディーに適切な対応ができるようになりました。これは決して「慣れ」ではなく、組織としての「対応力」がついてきた証です。昨年は、食品スーパー業界にとっては若干厳しい一年だっ

たといわれています。いわゆる「コロナ特需」の反動もみられたなかで、私たちのスーパーマーケット事業は、堅調に推移することができました。

ただ、グループ全体で見ると、コロナ禍の影響が続く事業も少なくなく、本格的な回復には時間を要しています。事業構造の改革や各種の改善の取り組みにより、早期の収益向上を目指します。

2022年度経営方針のテーマは「もっと！この街に、あってよかった。」です。小売業は、地域産業であり、お客様の近くで、地域社会と一緒に「暮らし」をつくっていく。それが、地域の人々の心の豊かさや安心を創造することにつながると信じています。

「店頭の価値づくり」に注力 お客様からの期待値も高まる

昨年度も「店頭の価値づくり」に注力した一年でした。お客様からは「商品が見つけやすい」「売場が清潔」「買物が楽しい」という評価をいただくことが増えました。私たちが、ここ数年力を入れているのが「お客様に商品価値を分かりやすく伝える表現力の向上」。その取り組みが、少しずつ実

を結んできています。

この背景には、従業員の「良い商品をお客様にお届けしたい」という強い思いがあります。どのようにすれば、商品の価値がお客様に伝わるのか、“もっと楽しく、より便利な店頭”になるよう一人ひとりがしっかり考え、磨き込みを行いました。

これを支えているのが、マネージャー層による教育とマネジメント。現場のモチベーションを上げ、「自律的な組織」をつくっていくことが、店頭の価値づくりと密接に繋がっているのです。

近年、店舗にいただく「お客様の声」も変わってきています。以前は、「ご指摘」のお声も少なくありませんでしたが、今では「ご要望」の声が増えてきました。その背景には、店長とお客様との丁寧なコミュニケーションがあります。この延長線上で「フジなら、やってくれるのではないかと」という「ご期待」を集めることができたのではないかと思います。店頭で注力する一方で、日々の買い物に不自由されている方々に向けた移動スーパー「おまかせくん」の巡回エリアも、拡大しています。店舗を利用することが難しい方々にも、商品を手にとって、選ぶ楽しさを味わっていただきたい。現在では、愛媛県、香川県、広島県、山口県の32店舗（2022年5月末現在）でサービスを行っています。

いいお店のある街は、住みたい街。 楽しく新しい、 店頭価値づくりへ。

積極的なDX推進や物流改善で、
より価値ある売り場づくりを目指す

お客様にとって本当に価値ある商品・売り場づくりを目指し、フジでは2020年度より独自のシステムを導入しました。いわゆる「DX推進」の一つです。これまで私たちは「この商品は、こういった方が購入するだろう」など、従来の考え方を元に仕入れや売り場提案をしている傾向がありました。しかし、データを蓄積し、それを分析することにより、お客様のリアルな購買行動が科学的に読み解けるようになってきました。

また、よりタイムリーに適正なコストで商品を店頭へ届けることができるよう物流品質を向上させるための取り組みも進めました。加えて、これまで店舗で対応していた生鮮食品の商品加工の一部をセンターに集中させたことにより、店舗では「もっとお客様に喜んでいただくためのアイデア出しや、取り組みの推進に傾注する時間に充てることできるようになっています。

脱炭素社会、循環型社会の実現に向け、
ESG経営を推進

我々流通小売業は、環境負荷の大きいビジネスのひとつです。店舗の機能や快適な環境を維持する上でも、常時かなりの電力を使います。物流においても多くの石油資源を使用し、商品パッケージには石油由来のプラスチックを使っているものが多くあるのも事実です。

フジでは「ESG経営」に、引き続き注力していきます。近年、自然災害が頻発し環境問題がより注目されるようになってきました。子供達の将来を、地球の未来を皆が一緒になって考えないといけない時代になっていると私たちは考えています。

企業も市民としての社会的責任を果たすということがこれまで以上に求められています。持続可能な社会を創るために「脱炭素社会」「循環型社会」の実現に向け、様々な施策を進めていきます。

お客様の期待値を超えるために
地道に丁寧に、改善を繰り返す

私たちが目指しているのは、「ここまでやってくれると思わなかった、ありがとう」「そうそう、これが欲しかった、ありがとう」というような、お客様の期待値を超えられるような商品やサービスの提供です。

例えば、食事に関しても「簡単に」「美味しく」「リーズナブルに」という、様々なニーズに応えたい。今の商品をどう進化させていくのか、そのことを常に考え、仮説を立てて一つの形にして提供する。そしてお客様の反応を見て、そこからまた改善の手を入れていく。そういったことを地道に繰り返すことがお客様からの評価につながると考えています。着実に、丁寧に取り組み、もっと！「この街に、あってよかった。」の実現を目指します。

地域とお客様の暮らしを支え、
もっとも地域に貢献する企業集団へ

2024年3月、フジはマックスバリュ西日本株式会社と合併し新会社を設立する予定です。「地域と暮らしに貢献したい」と願う2つの企業が一緒になることで、様々な課題の解決能力が格段に向上すると考えています。魅力のある店舗づくりはもちろんのこと、雇用の創出、一次産業等の協働推進など、地域経済の活性化にも貢献できると確信しています。



マックスバリュ西日本との経営統合で、
「暮らしを支える」取り組みを拡大

株式会社フジ・リテイリング 代表取締役会長 **尾崎 英雄**

今春(2022年3月より)マックスバリュ西日本株式会社との経営統合に向けた新体制がスタートしました。近年、様々な災害やコロナ禍を経て、世の中の流れも大きく変わっています。eコマースの進展など、新たな消費や購買スタイルも定着、拡大しています。こうしたニーズや事業機会にも積極的に対応しつつ、私たちの基本である店頭ビジネスでは不断の取り組みの深化により、暮らしに必要な商品・サービスの提供はもちろんのこと、健康で豊かなくらしを守り育てる場として、それぞれの地域になくはならない存在となれるよう、努めていきたいと考えています。激甚化する自然災害、切迫する南海トラフ大地震のリスク、不透明さを増す世界や社会情勢のもと、新しいアライアンスでブレイクスルーを追求し、持続的成長を目指します。流通小売業の経営が地域のくらしの品質を決めるともいわれます。両社でマーケットシェアが30%を超えるエリアが広がり、ますます、その責任も大きくなってきます。私たちは経営統合によって、文化やノウハウなどの交流を進め「多様性」と「化学反応的な組織活力」の創出により新しいアイデアを引き出し、ワクワクする協働を実現して参ります。強固な経営基盤が、様々な「挑戦」を支え、両社のリソースを活かしたバリエーション豊富な取り組みも可能になります。それは「社会課題」の解決にも大きな力となるはずで、これからも、中国・四国・兵庫などの西日本エリアを中心に「地域のくらしの未来をつくる事業」をすすめていきます。



社会環境の変化に対応し、
地域との連携で一層支持される店舗を目指す

株式会社フジ・リテイリング 代表取締役社長 **山口 普**

私たちは中国・四国地域で事業展開致しております。この地域は人口減少による過疎化が全国に先んじて進んでいるエリアです。そして今後は、大都市圏以外の他の地域も同じような状況を迎えます。私たちはできれば「人口減少社会における小売業のモデル」のような存在になりたいと考えています。リアル店舗の店頭機能の一層の充実に加え、デジタルとの融合による利便性の向上や、移動販売などのお困り事の解決などに積極的に取り組んでいきます。また、社会課題の解決についても先行的な例となれるようなあり方を目指したいと考えています。地方の市町村においては、過疎地域の拡大によって行政機関の支所や、企業の支店などをはじめとする様々な機能が徐々に縮小しています。フジが行政や他企業と連携することで、そこに住む人達の生活を守り支え、各種サービスが維持継続できるように、今後、具体的な取り組みを進めていけたらと考えています。フジは、今年55周年を迎えます。今後も、お客様に支持される店舗や魅力的な商品の開発、そして、より利便性の高いサービスなど、様々な取り組みを強化し、地域に寄り添いながらも「この街に、あってよかった。」を実現できるように、全力を尽くして参ります。

フジとマックスバリュ西日本は 中国・四国・兵庫の皆様の 「圧倒的な安心とワクワク」を実現し、 もっとも地域に貢献する企業集団を目指します。

株式会社フジは2018年10月、イオン株式会社と「資本業務提携」を締結し、以降、電子マネー WAONの利用や、商品・備品の共同調達など、様々な取り組みを進めてきました。

そしてこのたび、多様化するお客様のニーズにお応えし、より豊かなくらしの実現と中国・四国・兵庫エリアにおける産業・社会・文化・雇用などの問題解決に積極的に参画し、スピードをあげて取り組むため、2021年9月に株式会社フジとマックスバリュ西日本株式会社、イオン株式会社の3社で「株式会社フジとマックスバリュ西日本株式会社との経営統合に関する基本合意書」を締結し、統合新会社を設立することとしました。それに先駆け、2022年3月、株式会社フジは会社分割を実施し共同持株会社へ移行するとともに、株式会社フジが持株会社化するために必要な機能を除くすべての事業を株式会社フジ・リテイリングに承継し、2024年3月の経営統合に向けて新たな歩みをスタートしました。

私たちが事業を展開している中国・四国エリアにおいては、全国よりもいち早く人口減少や高齢化が進行し、また、新型コロナウイルス感染症の影響による生活スタイルの急激な変化など、取り巻く環境は著しく変化しています。そうした中で、「地域とくらし」への貢献を経営理念とする株式会社フジとマックスバリュ西日本株式会社はともに力をあわせ、地域の皆様のくらしを守り育てるため、地域の様々な課題解決に向けてスピードを上げて取り組むとともに、しっかりと地域に貢献していく企業への成長を目指し、シナジーの創出、統合効果の最大化を図っていきます。



現在、株式会社フジと株式会社フジ・リテイリング、マックスバリュ西日本株式会社は、2024年3月の完全統合に向けて、商品の共同仕入れや地域プライベート商品の開発、システム連携、サプライチェーンの再構築など、あらゆる面において協議・検討を重ねています。経営方針として、「地域のお客様に圧倒的に支持される店舗づくり(現場重視)」 「互いの垣根を無くし、一人ひとりが使命感と誇りを持って働く集団へ(従業員満足)」 「マスメリットの追求による強固なプラットフォームの構築(シナジー創出)」を掲げ、様々な改革に挑戦し続けながら「地域のお客様と働く従業員の圧倒的な安心とワクワク」の実現を目指していきます。

統合後の連結業績の見通し

	2023年2月期
営業収益	7,740億円
営業利益	139億円
経常利益	160億円
親会社株主に帰属する当期純利益	58億円

※上記業績予想は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用しています。

県別店舗数 ※2022年2月末現在

	フジ	フジ SM子会社	マックスバリュ 西日本	マルナカ	ザ・ビッグ	合計
愛媛県	51	4	4	26	3	88
高知県	8	-	-	18	-	26
香川県	4	-	1	64	4	73
徳島県	5	-	-	27	4	36
広島県	23	24	25	3	9	84
山口県	10	-	28	-	12	50
岡山県	-	-	3	50	9	62
鳥取県	-	-	-	-	1	1
島根県	-	-	1	-	1	2
兵庫県	-	-	79	14	2	95
合計	101	28	141	202	45	517

【合計】 店舗数 517店舗 / 従業員数 33,530名

1

地域とお客様の くらしをサポート

フジが大切にしている考え方



発見や驚きを提供できる店舗づくり

お客様に「満足」「幸せ」「安心」をお届けできるよう、商品・サービスなどの向上や施設・環境改善に取り組んでいます。毎日のくらしがより便利で快適になるとともに、楽しさやワクワクを感じていただけるよう、さらなる磨き込みを行ってまいります。

商品・サービスの開発

徹底した品質管理のもと、おいしさにこだわり、お客様の多様なニーズに対応した商品開発を行っています。また、地元商品の発掘・導入も積極的に進めています。

地元商品の発掘・導入

地域の魅力をより多くの人に伝えるために、中国・四国エリアにおける地元商品の発掘・導入をすすめ、販売エリアの拡大を行っています。



ふるさとの恵み豚について

生産者とお客様、地域、美味しい食事を介した人の「想い」をお届けしたい、そんな思いを込めた額内です。次のブランド肉をフジこだわりの基準を満たした「恵み豚」としてお客様の食卓へお届けします。

地産地消・地域交流の促進

地域の産業やお客様と密接に関わりながら地産地消・地域交流を促進することを目的に、地域の農産品や加工品などを直売しています。

出品者様の顔が見え、安心できる旬の野菜や魚を高鮮度・お手ごろ価格で提供するだけでなく、出品者様のこだわりをお客様にお伝えしたり、お客様の声を出品者様にお伝えするお手伝いをしています。



地域応援の取り組み

コロナ禍の影響により需要減少の影響を受けた事業を応援するため、生産者様と協力し、店頭で販売の拡大を行っています。今後も、生産者様と協力しながら地元貢献に努めてまいります。



外出自粛などによる需要減少の影響を受けた愛媛県産養殖鯛の販売を拡大し、生産者様を応援



プリ・マダイの出荷後の空きイキスを活用して、全国で初めてとなるサーモントラウトの「お魚バンクプロジェクト」(委託養殖)を実施

プライベートブランド(PB)の拡充

フジのプライベートブランド「Style ONE」「Prime ONE」は、より多くの生活シーンに取り入れていただけるよう、食品を中心に様々なジャンルで展開しています。お客様に選ばれるPBを目指して商品開発を進めています。



価格と品質のバランスを考えた「生活応援」ブランド。お求めやすい価格で品質も考慮した、安全・安心の商品です。



上質・こだわりを提供する価値提案型「新生活創造」ブランド。安全・安心はもちろん、毎日の生活を豊かに楽しくくらしたいというお客様に、手の届く最高の満足を提供する商品です。



topics

この街に、あってよかった。



もっと“ワクワク”をお届けする55周年記念商品

中国・四国の地元の素材にこだわった商品や、フジオリジナル商品など、毎日のくらしがより便利に、楽しさやワクワクを感じていただける55周年記念商品をお届けいたします。

※下の商品は55周年記念商品の一例です。



富士甚
瀬戸内だしつゆ

瀬戸内のいりこだしを使用し、まろやかな甘みと旨味が広がるだしつゆです。麺にはもちろん、煮炊きにも使える万能な一品です。



丸徳海苔
海苔屋さんの味のりたっぷり
牡蠣ふりかけ

贈答用ランクの味のりをたっぷり使用し、風味を高めるために青のりを加えた香り豊かな高級感あるふりかけです。



パスコ
ミルクぱん
(フジ牛乳使用)

フジの定番「フジ牛乳」を使用した、ほんのり甘いミルク風味の菓子パンです。



四国乳業
牛乳と卵のプリン

四国産生乳とフジオリジナル元氣な赤玉子を使用した、舌触りのよさや味の深みなどにこだわって丁寧に作られたプリンです。

価格と価値への取り組み

機能性や価格にこだわった商品の提供や、時代とともに変化する価値観・生活スタイルに対応した商品提案に取り組んでいます。

「毎日が安い」の追求～EDLP化の強化～

毎日使う商品をいつでも納得できる価格で提供するほか、定期的
に実施する企画に合わせてお買い求めいただきやすい価格で提供
するため、2017年から生活必需品を中心に1,200品目の値下
げを行っており、2021年10月からさらに飲料や調味料、日用品な
ど500品目の値下げを実施しました。今年度はこれらの取り組み
をさらに強化し、「毎日が安い!お値打ち価格」「月間 得だ値プライ
ス」とあわせて、創業55周年企画「プラス55ポイント」商品も取り
揃えています。お得な商品を多数ご提供し、さらなる「安さの追
求」を図り、皆様の毎日の暮らしを応援していきます。

「毎日が安い」の追求 [EDLP化の強化]

2023年度
加工食品売上高構成比目標

50%以上

2021年度実績 49.5%

お客様の“ほしい”をより手ごろな価格で提供し、「毎日
行きたくなる”一層の安さの追求にこだわっていきます。

販売促進を通した
「安さ」の提供

毎日の「安さ」の提供
Everyday Low Price

3つの「安さ」で **もっと!** 暮らしをサポート!



即食・簡単便利な商品の拡大

「じぶん じかん ごはん」をキャッチコピーとして、温めるだけ、炒めるだけなどの半調理品やレトルト食品、そのままおいしく召し上がって
いただけるお惣菜や野菜サラダなどをわかりやすく選びやすくコーナー化しています。「共働きで忙しい」「簡単だけどおいしい料理が食べ
たい」というお客様をサポートしています。



機能性価値の訴求 ～〇活シリーズ～

「わたしにイイコト。みんなにイイコト。」をキャッチ
フレーズに、地域独自の文化や習慣にあったグロー
カルな視点にこだわり、お客様ニーズにフィットす
る商品・サービスの開発、開拓を行っています。
常にお客様が新鮮さや新しさを感じることができ
価値あるモノ・コトをお客様に体験していただくこ
とで「これいいね!」「こんなのあったんだ!」と楽し
さやワクワクを感じていただける、期待を上回る
商品の開発や価値の提案を強化していきます。

2023年度 機能性商品「〇活シリーズ」の
売上高目標

130%以上 (2020年度比)

2021年度実績 112.7%

「納得できる価格」で「価値ある商品」を提供します。



時間帯に合わせた出来立て商品の品揃え

お客様のニーズにあわせて、出来立て惣菜や日替わり
弁当などを提供しています。季節に応じたこだわりの
食材を使い、おいしくて便利なお惣菜を一品一品心
を込めてお届けします。



小分け・使いきり商品の提供

従来の商品規格に加え、単身世帯・少人数世帯向けに
細やかな対応を行い、小分けパックや使いきり、ばら売
り商品を充実させています。使いたい・食べたいときに
ほしい量だけ購入する、ムダのないエコな生活をしたい
というお客様のニーズにお応えしています。



ライフスタイルの変化に対応したくらしの提案

コロナ禍で需要が高まったイエナカスタイルや健康に関する商品、おうち時間を快適に楽しく過ごすための商品など、機能性にこだわり、
新しい生活スタイルに対応した商品を提案しています。



サプライチェーン機能の強化

業態を超えた競争が年々激しさを増す中、中核事業と位置付けるスーパーマーケットでは、生鮮(精肉・青果・鮮魚・惣菜)部門の差別化に注力しており、生鮮機能の強化として順次生鮮部門のキーポイントとなるプロセスセンターや物流センターの整備に取り組んでいます。また、店舗運営が効率的に実現できるよう物流センターでは、運搬機器の新規導入・改善や品質維持のための確実な温度帯別物流にも取り組んでいます。



物流ネットワーク

中国・四国エリアで、効率的にお客様のニーズに応じた商品を店舗に供給できるよう、物流を統合しコストの削減に努めながら改善を進めています。



〈精肉センター、精肉第2センター〉

2019年に精肉第2センターを新設し、2つの精肉センターを活用してフジカンパニース店舗への商品供給拡大などグループ全体で販売強化をしています。効率的にお客様のニーズに応じた高品質の商品をタイムリーにお届けし、品質・価格・品揃えなどにおいて磨きをかけています。



〈株式会社フジデリカ・クオリティ本社工場〉

㈱フジデリカ・クオリティはお惣菜の製造(工場)・商品開発・販売(店舗)という一体化運営を行いながら、食の楽しさや美味しさ、大切さを通じて、お客様に驚きや感動を感じていただけるような商品の提供を行っています。品質の向上と生産力のアップを目的に、2019年にこれまで別施設で運営をしていた各加工工場を本社工場に集約・増設しました。同一の工場内で作業をすることにより、徹底した衛生管理と効率的な生産体制を整えました。



〈鮮魚プロセスセンター〉

2019年に鮮魚プロセスセンターを新設。「四国活魚センター」「四国生鮮センター」と同建物・敷地内で運用することにより、効率的で質の高いコールドチェーンを実現し、高鮮度で品質の良い商品をお届けできるようになりました。魚惣菜室の設置や鮎などもセンター製造できるようになり、「フジオリジナル商品」の開発品目や製造量を増やし差別化を図っています。



〈株式会社フジ・アグリフーズ本社流通センター〉

㈱フジ・アグリフーズは野菜や果物など青果物を取り扱う仲卸業を行っており、厳選して仕入れた新鮮な商品をフジ・リテイリングやフジファミリーフーズをはじめ、松山市内の学校給食や飲食店に提供しています。2020年に本社流通センターの建て替えを行い、商品の入荷から出荷までのコールドチェーン体制の整備による品質の向上とセンター利用によるオペレーションの効率化を図っています。



施設・環境改善

すべてのお客様に安心してお買い物を楽しんでいただけるよう、レジでの待ち時間の短縮や、店舗施設に様々な工夫を施しています。また、店頭は商品を販売するだけでなく、お客様と従業員、お客様とお客様をつなぐコミュニティの場でありたいと考え、お客様が憩い、交流できるスペースの導入を進めています。

ご精算セルフレジの拡大・キャッシュレスセルフレジの導入

ご精算をお客様に行っていただく「ご精算セルフレジ」と、現金以外の電子マネーやバーコード決済でお支払いいただく「キャッシュレスセルフレジ」を導入しました。お客様のペースでお支払いができ、レジでの待ち時間が短縮されることによりお客様満足につながっています。チェックアウトのスピードアップを実現し、サービスレベルの向上を図っています。



レストスペースの刷新

お買い上げいただいた商品をその場で召し上がっていただいたり、休憩スペースやコミュニケーションの場としてご利用いただけます。また、地域の歴史や写真を紹介するコーナーを設けるなど、親しみやすい空間になるよう工夫しています。現在は、席の間隔を確保し、新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みを行っています。



新たなカゴの設置

従来の買い物かごに加え、ショートタイムショッピングでの買い物量にピッタリなサイズのカゴを設置しました。シルバーカーなどにも乗せることができる使い勝手の良い小さいサイズで、お買い物も便利になりました。



安全・安心な駐車場の整備

車の乗り降りに広いスペースが必要なお客様に、屋根付きの専用駐車場の設置や、駐車場の側線や中央ラインを見やすくわかりやすく塗装することで、スムーズな走行ができる機能的な駐車場を整備しています。お客様がより安全・安心にお買い物を楽しめるよう環境づくりを行っています。



障がい者駐車場・思いやり駐車場の設置



バリカー設置による歩行者の安全確保



走行・乗降しやすい駐車場整備

ノンストアリテイル事業の強化

手軽にお買物を済ませたいお客様、日常のお買い物にご不便を感じていらっしゃる方々の暮らしをサポートするために、ノンストアリテイル事業(無店舗販売)に取り組んでいます。ニーズに応じて様々なお買い物支援サービスを展開し、お客様の暮らしをサポートしています。

フジ移動スーパー「おまかせくん」

フジ移動スーパー「おまかせくん」は肉、野菜、お惣菜などの生鮮品や、牛乳、豆腐などの冷蔵食品、パン、お菓子、調味料などの加工食品約400品目を専用の冷蔵設備のある車に積み込み、販売エリアを巡回するサービスです。2015年5月、愛媛県松山市でサービスを開始して以降、巡回エリアを拡大しています。

2021年4月以降、地域のお客様のニーズにお応えべく、新たに15店舗30台を導入。現在では、愛媛県18店舗、香川県2店舗、広島県9店舗、山口県3店舗の合計32店舗を拠点に58台144ルートでサービスを提供しています。(2022年5月末現在)



昨年比売上
135.0%
(2021年度)

販売エリアなど詳細はこちらでご確認ください。

フジ移動スーパー「おまかせくん」専用ホームページ <https://www.the-fuji.com/fuji-mobilesuper/>

topics

フジネットスーパー「おまかせくん」 「ぱぱっと受取りサービス」開始!

フジネットスーパー「おまかせくん」は生鮮食品やお惣菜、日用雑貨など、フジの店頭と並んでいる商品をインターネットで注文していただき、当日または翌日にご自宅にお届けしているサービスです。2010年4月に事業をスタートし、愛媛県、高知県、徳島県、広島県でサービスを展開しています。2021年9月から、ネットスーパー「おまかせくん」で注文した商品を車に乗ったまま店舗の駐車場で受け取ることや、店舗でレジに並ばずにサービスカウンターで受け取ることができる「ぱぱっと受取りサービス」を開始しました。外出のついでや自宅待たずに好きな時間に受け取ることができ、手軽にお買物を済ませたい・お買い物時間を短縮したいといったお客様のご要望にお応えすることができます。

現在、愛媛県4店舗、高知県2店舗、徳島県2店舗、広島県2店舗、合計10店舗でサービスを提供しています。



ぱぱっと受取りサービス

忙しい毎日を変えるお手伝い!

ネットスーパーで **注文**

フジ店舗で **受取り**

店舗受取りから **配達料が0円**

クレジットで簡単会計! レジ待ち不要!

エフカポイントも貯まる!

ご都合のよい時間にお受取り!

ネットスーパーならこんなに便利!

選べる受取り方法

ネットスーパーで注文!

パソコンから! スマホから!

駐車場
ご指定店舗の駐車場にてお車までお届けします。

サービスカウンター
ご指定店舗のサービスカウンターにてお渡しします。

または

2

未来のお客様と地域を考える

フジが大切にしている考え方



地域の安全や豊かさの創造

フジは、地域に根ざす小売業として、地域の皆様に「この街に、あってよかった。」と感じていただける店舗・企業となることを目指しています。地域の暮らしに寄り添い、環境活動や防災・減災活動、地域の皆様と一緒に取り組む様々な活動を通じて、地域の拠点となり、皆様のお役に立てる存在になれるよう取り組んでいます。

フジの環境問題への取り組み推進

地域の環境を維持し、より良い社会を築くため、フジは「脱炭素社会の実現」「循環型社会の実現」「地域との共生」の3つを柱に、環境に対する取り組みや意識啓発を行っています。そして、これからの未来に地域とともにあり続ける企業を目指し、お客様、地域の皆様、取引先様と一緒に様々な取り組みを進めています。

フジの環境理念

フジは、「豊かなくらしづくりを提案し、地域社会の発展に貢献する」という理念のもと、私たち従業員一人ひとりが環境活動を積極的に推進し、「この街に、あってよかった。」と思っていいただける環境調和型企業を目指します。

環境指針

- ① 私たちは、地域社会との連携と調和をはかり、環境活動を継続的に行い、地域社会の発展に貢献します。
- ② 私たちは、企業活動の中で、資源の有効利用、省エネ・再エネの推進、廃棄物の削減を通してCO₂削減と循環型社会の実現に取り組めます。
- ③ 私たちは、安全・安心で環境負荷の少ない商品およびサービスを提供します。
- ④ 私たちは、環境に関する法規制を遵守し、企業として自主的目標を定め、環境活動に積極的に取り組みます。
- ⑤ 私たちは、この環境指針を実行し、持続可能な社会の実現に取り組めます。

環境調和型企業として
持続可能な社会の実現を
目指します

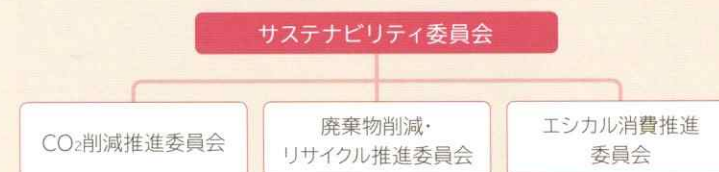
脱炭素社会
省エネ・再エネの推進と
環境負荷の低減

持続可能な社会

循環型社会 **地域との共生**
廃棄物の発生抑制と
リサイクルの推進 **地域の皆様と
ともに行う環境活動**

サステナビリティ委員会の設置

これまで、環境問題に対する課題の整理と、中期目標の策定、具体的施策を計画するため「環境委員会」を設置し、具体的検討を進めてきました。2022年度からサステナビリティ委員会を新設し、サステナブル(持続可能)な観点から取り組みをさらに推進することで、企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指します。



脱炭素社会に向けた省エネ・再エネの推進と環境負荷の低減

CO₂発生を抑制するために日ごろから空調、照明における電力削減や環境にやさしい設備の導入など、様々な環境負荷低減に取り組んでいます。

環境に配慮した設備・施設

CO₂排出量削減を目指して使用電力の削減など省エネ・再エネの推進に取り組んでいます。電力使用量やエネルギーコストの見える化を行いリアルタイムで確認することができる「エネルギー管理システム」や、環境に配慮した冷凍・冷蔵ケースを設置しCO₂排出量の削減に向けて設備・施設の環境整備を行っています。

また、店舗屋上のスペースを有効活用した、自家消費型の太陽光発電システムの設置を拡大しています。脱炭素社会への取り組みを推進し、省エネの取り組みに加え、再生可能エネルギーの活用拡大に向けて取り組みを進めていきます。

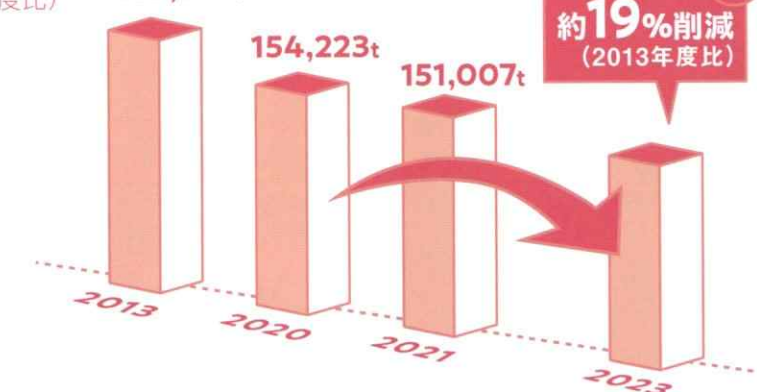
2021年度は30店舗に設置し、年間約2,400tのCO₂排出量の削減を行いました。



2023年度
CO₂排出量削減目標 (2013年度比)

[CO₂排出量]
185,522t

約19%



循環型社会の実現に向けた廃棄物の発生抑制とリサイクルの推進

廃棄物の発生抑制と循環利用により資源の消費を抑え、環境負荷の低減を図るため、商品のロングライフ化や店頭での資源回収を実施しています。また、再生利用業者、地元農家とフジの3者で食品リサイクルループの取り組みを行うなど、リサイクルを推進しています。

おいしさが長持ちするフレッシュパックの導入

MAP(Modified Atmosphere Packaging)包装を使用し、パッケージの中の空気をその食品の保存に適した精製された食品ガスに置換し、包装した商品を導入しています。

パック内に鮮度保持ガスを閉じ込め商品の鮮度を保ち、長期間おいしさが保てるようになりました。鮮魚プロセスセンターに加え、2021年には精肉センターも導入しました。



廃棄物の分別と計量の実施

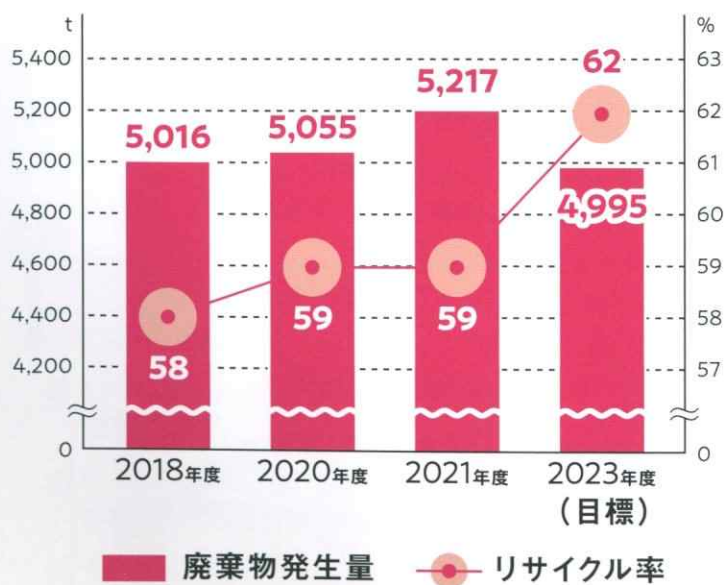
企業活動による廃棄物量を減らすためには、まず廃棄物の種類や量を正確に捉えることが必要です。そこで店舗への廃棄物計量器の設置を順次進めており、エミフルMASAKIをはじめ27店舗で廃棄物計量器を設置しています。(2021年度)

地域循環型食品リサイクルループの構築

食品廃棄物を削減し環境負荷の低減を図ることを目的として、システムを活用した発注管理の向上や、フレッシュパックの導入による商品のロングライフ化など廃棄ロスの削減に取り組んでいます。また、食品廃棄物を再利用した循環型農業「食品リサイクルループ」の構築や、各店舗で発生した食品残さをたい肥化して再利用する「食品循環型リサイクル」活動など、食品廃棄物のリサイクルにも積極的に取り組んでいます。



【食品廃棄物リサイクルの推移 ※自社センター含む】



2023年度
リサイクル率
目標



2023年度食品廃棄物削減目標
(2018年度比)



※ 売上百万円当たりの食品廃棄物発生量

地域の皆様とともに行う環境活動の推進

お客様のご理解とご協力をいただきながらマイバッグ運動やレジ袋削減の取り組みなど、環境活動を通じて地域貢献に努めています。

フードドライブ・フードバンク活動

食品ロスの削減や地域社会との共生を目指して自治体と協力し、家庭等で余った食品を店舗に持ち寄っていただき、関連支援団体を通じて子供食堂や福祉団体などにお届けする「フードドライブ活動」や、品質に問題がないにもかかわらず市場で流通できなくなったお米や加工食品をフードバンク団体に提供する「フードバンク活動」を実施しています。

今後も、地域のお客様とともに食品廃棄物の削減など環境に関する取り組みや意識啓発を行う活動を広げていきます。



店頭リサイクル活動

お買い物時にいつでも気軽にリサイクル活動に協力できる場所として、全店の店頭で資源回収BOXを設置しています。トレイや牛乳パックに加えて新店や改装店舗から順次、古紙やペットボトルなど回収品目を拡大し、リサイクル可能な資源回収を行っています。



2021年度店頭リサイクルの回収量



ビーチクリーン活動

2002年から毎年フジカンパニーズでは、海岸の漂着ごみを回収する「ビーチクリーン活動」を実施しています。愛媛県中予地区の従業員と家族が海岸の清掃を通して環境保全活動を行っており、2021年度は「まつやま自然ネットワーク」様のご協力、環境学習を実施しました。重信川河口に生息していた絶滅種や絶滅危惧種など希少生物を紹介いただき、環境保護の大切さや生物の多様性を学びました。



topics

私たちにできること

循環型社会の実現に向けた使い捨てプラスチック削減の取り組み

使い捨てプラスチックを削減することを目的として、お客様とともに行う「マイバッグ・マイバスケット持参運動」の推進に努め、2020年7月からは全店でレジ袋の無料配布を終了するとともに、環境負荷の少ないバイオマス25%配合袋に切り替えを行いました。多くのお客様のご理解とご協力のもと、フジでのレジ袋辞退率は現在8割を超えており、2021年度は10,742万枚のレジ袋の削減にご協力いただきました。有料レジ袋収益金の一部を地方自治体や団体に寄附し、緑化促進や清掃活動、環境教育など地域の環境保全に役立てていただいています。

また、2022年4月からフジ直営全店で、お弁当などを購入された時にお渡しするカトラリー類(スプーン、フォーク、ストローなど)を、プラスチック製から紙製や木製に切り替え、さらなる使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいます。この取り組みにより年間約7tの使い捨てプラスチックの削減につながります。



愛媛県に収益金贈呈の様子(2021年6月)
左から 榎フジ 山口社長、愛媛県 田中副知事

■ 地域を守るライフラインの拠点づくり

年々激甚化しつつある「自然災害」という大きな視点に加え、今後起こりうる大規模災害やパンデミックなどを想定し、様々な対策や体制を構築しています。想定外の事態にも的確な対応ができるよう、普段から各店舗および事業所で定期的に訓練を実施し、地域の皆様に安心して施設を利用していただくとともに、信頼していただける企業となることを目指しています。

事業継続計画(BCP)の策定

2012年度に事業継続計画(BCP)を策定しました。毎年見直しを行い、必要に応じて内容の更新をしています。2016年には、新型インフルエンザ等の発生時におけるBCPの見直しを図り、確実な業務継続のための対策を行っています。

(株)フジBCP基本方針

大規模地震等の災害が発生した場合でも、お客様および従業員の生活に影響を及ぼさないよう、以下の方針に基づき策定したBCPに則り、防災対策や事業の継続・早期復旧に取り組みます。

- ① お客様・従業員の安全を確保する
- ② 地域の拠点としてライフラインの役割を果たす
- ③ できる限り早期での営業活動正常化を目指す



緊急初動体制の構築

地震などの大規模災害が発生した際には初動体制が重要です。そこで、県を越えた大規模災害発生を想定した「緊急事態対応マニュアル」を作成し、リスク管理委員会で毎年見直ししながら必要に応じて改訂しています。また、災害発生時の行動マニュアルや非常持ち出し品リストなど、非常時に必要な情報をまとめた「防災ハンドブック」を従業員に配布しています。常に携帯することを推奨し、万が一のときでも適切な行動がとれる体制を整えています。



防災士資格の取得と活用

防災や減災のための基本的な知識を習得し、BCP基本方針を実現することを目的に、2013年度からフジ全店の店長、店舗・本部マネージャーおよびフジカンパニーズ各社のマネージャーが「防災士」の資格を取得しています。地域の防災のリーダー的存在として、平時から高い防災意識を持ち、防災訓練や啓蒙活動、事業所内での従業員への教育を行っています。

防災士の掲示

店頭では店長が防災士であることを掲示し、お客様に安心してご来店いただけるよう、フジが全社を挙げて災害に備えていることをお知らせしています。



防災士資格取得者
(2022年3月15日現在)

フジ
246名

フジ
カンパニーズ
合計
435名

包括協定および
防災に関する
協定締結数

70

行政との連携強化

各行政と防災に関する連携協定を締結しており、その連携項目のひとつでもある「地域の安全・安心の確保」に努めています。防災発生時の地域インフラとして貢献できるよう、防災体制における連携協力関係を強化し、災害時応急対策を確立させるとともに、防災意識と地域防災力の向上を図り、安全・安心なまちづくりのお手伝いをしています。

お客様との防災訓練・防災イベントの実施

各店舗でお客様参加型の防災訓練を行っています。お客様と従業員が合同で、より現実に即した実践的な訓練を実施し、災害時における的確な指揮系統や迅速な救急体制の確認をしています。



■ お客様・取引先様との信頼関係の強化

お客様からの信用に応え、安全で安心していただける商品を提供するために、従業員一人ひとりが衛生管理の徹底をしています。また、社会からの信用を失わないよう、研修や教育の強化など様々な取り組みを進めています。

HACCP®に沿った衛生管理の実施

2021年6月からHACCPに沿った衛生管理が完全施工されました。フジでは安全・安心な商品提供を行い、商品の信頼性をさらに高めていくため、2020年9月からHACCPに沿った衛生管理を開始しました。以前から行っている衛生管理ルールへの徹底に加え、加熱惣菜の中心温度の測定など、衛生管理の強化を図っています。

※HACCPとは、安全・安心な商品を提供するために、仕入れから販売までの過程において、起こりうる気概を想定し、対応するという衛生管理の手法です。



公正な取引に関する研修の実施

公正な取引に対する従業員の意識向上のためには、継続的な研修および啓発が欠かせません。バイヤーや仕入れ担当者を対象に「公正な取引に関する研修」を行い必要な知識と考え方の習得を行っています。



組織を挙げた推進体制

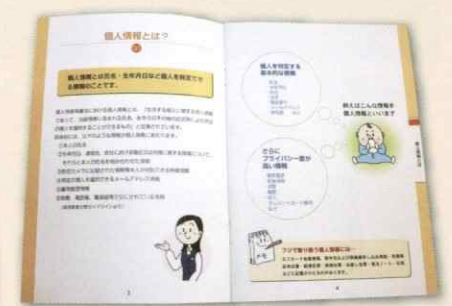
従業員一人ひとりが、日々の業務の中でコンプライアンスを推進する行動を取ることができるよう、組織を挙げてコンプライアンスの実践に取り組んでいます。

- コンプライアンス委員会が
月ごとに設定したテーマ・
重点項目の周知徹底
- コンプライアンス使りの
発信 他



個人情報管理の徹底

お客様から得た大切な個人情報は「個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)」に基づき、適切に管理しています。また、時間給社員(ストア社員)を含めた従業員全員に「個人情報保護ハンドブック」を配布し、個人情報の適切な取り扱い・管理を徹底しています。



3 お客様と従業員をもっと笑顔に

フジが大切にしている考え方



お客様も従業員も“もっと楽しいお店に”

もっと楽しく、より便利な店舗を目指しお客様の期待を上回るサービスの提供や、暮らしに便利な情報の発信など、お客様に喜んでいただける店舗づくりに取り組んでいます。また、すべての従業員がいきいきと輝ける働きがいのある職場づくりを推進し、お客様と従業員が笑顔になれる企業を目指しています。

お客様をもっと笑顔に～魅力ある店舗づくり～

フジは地域に根差す小売業として、地域の皆様に「フジがあってよかった」と感じていただける店舗・企業となることを目指しています。その一環として店舗の“お客様の声ボックス”や、“この街に、あってよかった。プロジェクト”などを推進しています。お客様と対話を重ねることで、より良い店舗づくりに活かしています。

お客様の声ボードの設置

お客様により近づくためのコミュニケーションツールとしてお客様の声ボードを活用しています。全社として改善した事例や、頻繁にいただくご意見・ご質問に対するフジの思いや考え方を、全店共通の内容でご紹介することで、お客様からフジへ、フジからお客様への2WAYコミュニケーションを図っています。より多くのお客様の声を「かたち」に変えていくことで、フジのファンにもっとたくさんの「ワクワク」をお届けします。



実際にいただいたお客様の声

(お客様の声)
今年1月に子供が自転車置き場の鉄のポールにぶつかり、たんこぶができたので 改善をお願いした者です。
早急にご対応いただき、緩衝材を巻いてくださいました。
こちらの不注意もある中、ご対応していただき感謝しています。
それを見るたびに、フジの顧客対応の良さを感じます。
ありがとうございました。

(お客様の声)
「あげぎょうざ」を置いてほしいです。
(お店の回答)
ご要望の「あげぎょうざ」はお惣菜でしょうか、ご家庭で調理する商品でしょうか。ちなみに、市販のチルドぎょうざや冷凍ぎょうざでも簡単に「あげぎょうざ」をお楽しみいただけます。
170℃に熱した揚げ油できつね色まで揚げ、油をきったあと、大根おろしやぼん酢、塩でお召し上がりください。

声をいただいたお店の店長に聞きました

オープン以来「声あつめ」に取り組んでいます。
「お客様の声」は、私たちが気付かない施設面の不具合や不便に関する事など、様々なことを教えてくださいます。
いただいた「声」は真摯に受け止め、実現可能な声にはすべて対応するようにしています。



声をいただいたお店の店長に聞きました

商品の要望は、可能な限りご希望に沿えるように、商品部にも確認し、正確にお答えするようにしています。
ご要望に沿えない場合は、なぜできないかと、代替りの品の提案をするようにしています。



デジタル化の推進～便利な店舗づくり～

テクノロジーの進化を機会ととらえ、新しいサービスの展開はもちろん、よりお客様のニーズに適応した情報をお届けし、お買い物により便利で楽しくなる店舗づくりを進めています。また、仕事の効率改善や生産性向上に活用するための研究・開発を推進し、IoT (Internet of Things) やビッグデータ、AI (人工知能) の活用による作業の省力化、RPA (Robotic Process Automation) の導入による作業の自動化など、従業員の負担を軽減させ、働き方の変革にもつながる取り組みを進めています。

eラーニング

教育の現場において、人材育成につながるOJT教育や自己啓発、各種研修をより効率的・効果的に進める必要があります。進化するIT技術を活用して、人材育成に必要な教育環境を整備し、知識と技術の早期習得に向けた取り組みを推進するために「eラーニング」の活用を推進しました。これにより「いつでも」「どこでも」「何回でも」動画視聴することが可能になり、受講前後の時間を店舗勤務時間に充てられるなど、時間の効率化にも大きく貢献しています。



ID-POSデータの活用

デジタル活用による標準化および業務効率の向上を目的として、ID-POSデータを使用し、店舗の分析・対策力の向上と本部の計画精度向上にむけて、活用を推進しています。
データを分析することで、「状況の把握(見える化)」「傾向や関係性の把握」などマーケティングの領域でも活用し、ニーズを捉えた商品開発と販売力の強化を行っています。

需要予測による自動発注システムの活用

発注精度の向上と省力化を図るために、ビッグデータとAIを活用し、販促の種類や売価の変動などを考慮して需要予測を行う自動発注システムを導入し活用しています。
これにより、欠品ロスの削減はもちろん、発注と補充作業の省力化が進んでいます。

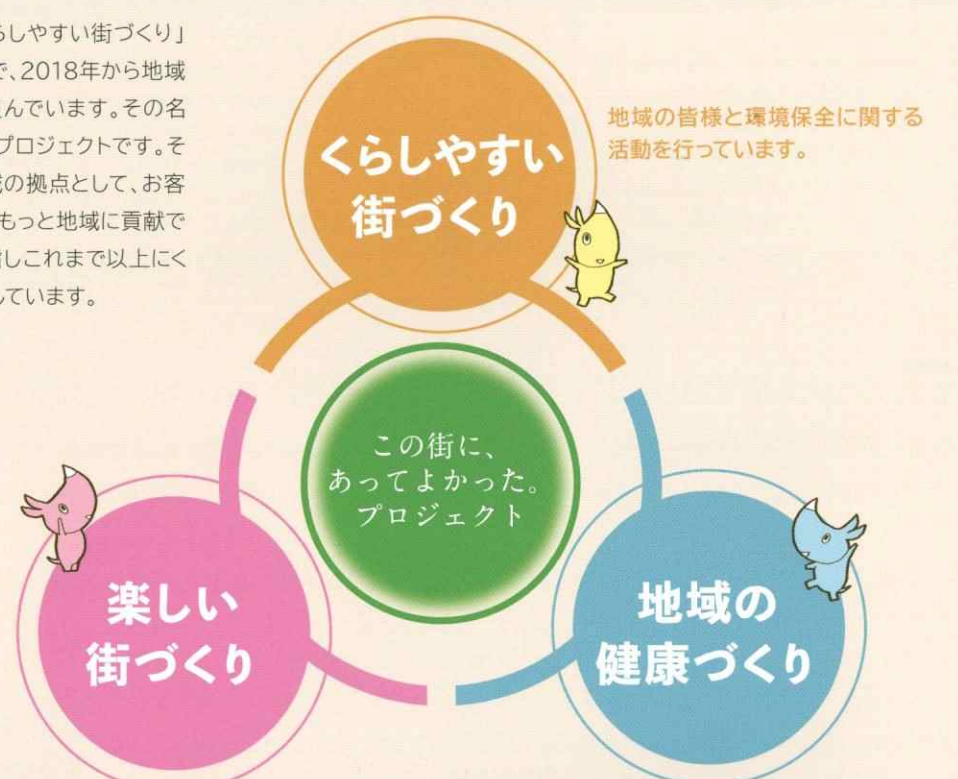


創業55周年感謝をこめて～もっと、この街の声をかたちに～

フジは、1967年愛媛県宇和島市に1号店を開店し、現在では中国・四国6県に101店舗を展開し、毎日のくらしがより便利で豊かになるお手伝いをしています。55年間これまで支えてくださったお客様や従業員に感謝の気持ちをこめて“もっと”地域に密着した取り組みや、“もっと”フジのファンになってもらう楽しい企画など様々な記念事業を実施しています。

地域のお客様と もっと深く、ずっと長く、つながる

フジは「地域の健康づくり」「くらしやすい街づくり」「楽しい街づくり」の3つの視点で、2018年から地域に密着した様々な活動に取り組んでいます。その名も「この街に、あってよかった。」プロジェクトです。それぞれの店舗が主体となり地域の拠点として、お客様ともっと深いつながりを持ち、もっと地域に貢献できる企業・店舗となることを目指しこれまで以上にくらしに密着した取り組みを実施しています。



地域の皆様と環境保全に関する活動を行っています。

地域の皆様とのふれあいを大切にしなが
地域のコミュニティ拡大につながる取り組み
を実施しています。

「健康」をテーマに情報発信や体験イベント
などを実施しています。

例えば フードドライブ活動



ご家庭で余った食品をフジの回収ボックスにお持ちいただき、必要としている方に寄付するフードドライブ活動を、2022年度は、回収ボックスを設置していない店舗(74店舗)でも、各店舗2週間ずつリレー形式で実施しています。

例えば 農業体験



フジ各店舗では、地域の生産者様と協力し、地域の皆様に田植えなど農業体験をしてもらうことで、自然や農業の素晴らしさと厳しさを体感しながら食の大切さを考えていただく機会をつくっています。

例えば 健康フェスタ



「健康」をテーマに健康測定や相談・講習会、その場でできる運動レッスン等を実施し、お客様ご自身の健康増進や家族の介護などの悩みに寄り添い、地域の健康づくりを推進します。

“もっと”フジのファンに

社内においても一緒に働く仲間との関わりを通じて、仲間の大切さを実感し、絆を深め“フジで働いてよかった”と思っていられる取り組みを実施しています。

社内コミュニケーションの活性化

雇用形態、年代、地区を越えて参加する事ができ、コロナ禍で希薄になりつつある社内コミュニケーションの促進を図り、モチベーションの向上や「もっと」フジを好きになる取り組みを行います。

「ゆるスポーツ大会」の開催

各事業所から、オンラインで参加する事ができ、年齢・性別・運動神経に関わらずみんなで参加する事ができる新スポーツです。チーム一丸となって優勝を目指し職場でのコミュニケーションの向上を図ります。



フジゆるスポーツ選手権

職場参観日

『お父さん、お母さんが働いている姿を見てもらいたい!』各事業所に職場見学形式でお子様をお招きし、働くお父さん・お母さんのカッコいい姿を見もらうことで、ご家族とのコミュニケーションを盛り上げ、モチベーション向上に繋がります。



職場参観日

会長・社長との座談会

経営者との対話を通じて、経営者の考え方、働き方、会社が向かっている方向性・大切にしている思いを理解していただき、自分たちの役割を理解し、全従業員が活躍できる組織風土の醸成と、働くことへのモチベーション向上に繋がります。



会長・社長との座談会

「FUJI-FANプロジェクト」の実施

フジを支え、フジとともに歩んできた従業員に、フジで働くことにもっと自信を持ってもらい、もっと誇りを感じてもらえるようにファン(お客様や従業員)と向き合う取り組みを行っています。

フジのどんなところを好きでいてくれるのかを知り、その魅力をもっと高めていくことで、フジの全従業員が毎日の仕事をもっと楽しく、もっと自信と誇りを持ち、さらに『もっと!「この街に、あってよかった。』』と思える55周年事業を実施します。



従業員をもっと笑顔に～働きやすい職場づくりと人財育成～

フジは、すべての従業員の活躍を支援し、いきいきと輝ける、働きがいのある職場づくりに取り組んでいます。お客様に笑顔になっていただける店頭づくりはもちろん、従業員自身が前向きに仕事を行える環境づくりや従業員教育にも力を入れています。豊かな人生を送れるよう仕事と生活を調和させるためのワーク・ライフ・バランスを推奨しています。

人財育成・人財活躍

成長し続ける企業であるために、環境の変化に柔軟に対応できる人財育成を行っています。多様な人財の適正な能力の活用や発揮による生産性の更なる向上を目指し、人財育成の柱を現場教育であるOJT(On-the-Job Training)に置きながら、キャリアに応じて様々な教育を実施し、従業員の能力開発に努めています。



研修制度

新入社員を対象とする研修から役職別の新任時研修、店長を対象とする研修まで様々な階層に応じた「階層別研修」を行っています。さらに、フォローアップ研修を行うことで、現時点に必要な技術や知識を身につけ、今後の課題を抽出し目標設定を行っています。また、より実践的な技術や知識を習得するために、職種・部門別に専門トレーナーや外部講師が教育を行う場を設けています。

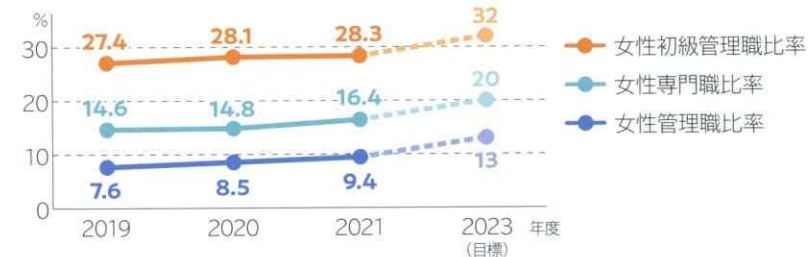


階層別教育	職種・部門別教育
新入社員研修	生鮮食品部門研修
課長代行研修	加工食品部門研修
主任・係長研修	レジ・サービス研修
マネジャー研修	衣料・住居関連商品研修
入社2年次・3年次研修	バイヤー・スーパーバイザー研修
店長研修 他	52週MD研修 他

女性の活躍推進

店舗にご来店いただくお客様をはじめ、従業員の大多数が女性であることから、女性の視点や感性を生かした売り場づくりや商品の開発、サービスの提供を大切にしています。育児支援など各制度の充実を図り、働きやすい環境を整え、管理職やバイヤー、トレーナーなどの専門職への積極的な登用を行っています。

管理職など女性比率の推移



人財採用の取り組み

月給制社員やストア社員、一般アルバイトなど、多様化する働き方を可能にすることで、それぞれがより活躍できる組織づくりを目指しています。将来を担う人財の確保と組織活力の維持・向上を目的に採用の取り組みを強化しています。



WEBを活用した採用の強化



内々定者ご家族向け会社説明会の実施

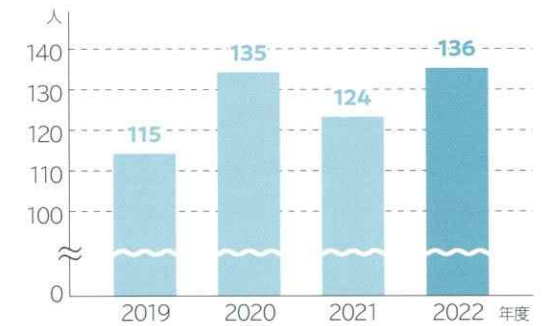


先輩社員との交流会の実施

育児支援制度

子供が満2歳になるまでを限度とし育児休職制度を利用することができます。また、小学6年生終了までの子供がいる従業員を対象に短時間勤務制度を導入しています。育児勤務の時間は6時間もしくは7時間のいずれかを選択することができ、勤務時間帯は本人の希望を考慮し、各事業所で設定しています。

育児勤務制度利用者数



フジにじいろ保育園

出産後も従業員が安心して働ける環境を整備し、さらなる活躍推進をサポートするため2018年3月、松山市に開園しました。365日、7時から20時まで受け入れ可能で、隣接するスポーツクラブ「フィッタ」のキッズ体操教室やキッズスイミングスクールも活用し、お子様一人ひとりの豊かな心身を育てています。



フジグループ福祉会

フジグループで働く人々と、その家族の総合的な福祉の向上を目指し、会社と組合双方の共済機能を一つにまとめ、よりスケールアップを図り、独立した事業体として1988年に設立されました。高齢化が進む中、介護は身近な問題となっており、会員の不安の解消と安心して働き続けられる環境づくりに向け、2022年4月から㈱ユーミーケアと連携し、「介護相談窓口」を開設しました。環境の変化や会員ニーズに対応することで「この会があってよかった」と笑顔で言ってもらえる運営を目指しています。



事業所内のコミュニケーションを目的としたクラブ活動の推進

定年再雇用制度

60歳(定年)を迎えるにあたり、原則として希望する全従業員の再雇用を最長雇用年齢70歳まで行っています。再雇用後は、それぞれのライフスタイルに合わせて勤務時間や年間休日数などを選択することができます。なおこの制度は、月給制社員だけでなくストア社員にも適用しています。

定年再雇用制度利用者数



65歳以上の
シニア社員数
(2022年2月現在)
546名
※月給制社員
ストア社員 合計

FUJI COMPANIES

グループ企業との連携

地域の皆様の暮らしをより豊かにするため、フジ・リテイリングと関係会社は“フジカンパニーズ”を形成しています。フジカンパニーズ各社が連携し、新たな価値をつくり出すことで、地域の皆様のあらゆる生活シーンに密着し、より良い暮らしを提案しています。

(株)フジ・スポーツ&フィットネス

老若男女問わず地域の方々に、充実の設備とプログラムで心身の健康をサポートする「スポーツ・クラブフィット」13店舗を中心に4つの形態のスポーツクラブを展開しています。女性専用HOTスタジオや、ウェブを活用した動画配信などニーズに合わせた事業を展開し、スポーツや運動を通じて地域の「健康インフラ」を支えています。



FSF

FUJISPORTS & FITNESS
(株)フジ・スポーツ&フィットネス
総合フィットネス
クラブ事業

FC

(株)フジ・ハートクリーン
容器・機械等の
洗浄・清掃業

FD

(株)フジデリカ・クオリティ
食品製造・
加工販売業

FD

(株)フジ・ハートデリカ
食品加工業

小売周辺事業

F

(株)フジファミリーフーズ
飲食業

(株)フジファミリーフーズ

和食レストラン「どんと」や焼肉「じゃんじゃか」、フジ店内のフードコートをはじめ、FC事業として「ミスタードーナツ」「ケンタッキーフライドチキン」などを展開しています。テイクアウトの強化や、あらたにミスタードーナツ移動販売の実施、幅広い世代に気軽にご利用いただけるニュースタイルの焼肉「焼肉食堂炎蔵」などさまざまな生活スタイルに合わせた、ゆたかな「食の場」を提供しています。



(株)フジファーム
農業

(株)フジ・アグリフーズ
青果卸売業

(株)フジ・カードサービス
クレジットカード事業

FUJIMART
(株)フジマート
四国
スーパーマーケット

NICHIE
(株)ニチエー
スーパーマーケット

レデイ
(株)レデイ薬局
医薬品化粧品等
小売業

(株)フジモータース
自動車販売業

小売事業

PureCook
(株)フジマート
スーパーマーケット

FUJI
(株)フジ・リテイリング
総合小売業

Fi
Fuji TSUTAYA
フジ・TSUTAYA・エンターテイメント(株)
DVD・CD・書籍の小売およびレンタル業

サニー-TSUBAKI
(株)サニーTSUBAKI
不動産賃貸業

(株)アクトピア企画
不動産賃貸業

(株)フジすまいるファーム飯山
障がい福祉サービス事業

(株)西南企画
不動産賃貸業

(株)ユーミーケア
介護サービス業

その他

FN CLEAN
(株)FNクリーン
清掃業

FS
(株)フジセキュリティ
総合ビルメンテナンス業

ORIX Rent A Car
(株)フジ・レンタルリース
自動車賃貸業

(株)フジ・トラベル・サービス
一般旅行業

IR情報

■ 適時・適切な情報開示

ホームページなどにおける適時の情報開示や株主様向けの報告書の発行(年2回)などを通じて、迅速に経営状態をお伝えするよう努めています。
また、アカウンタビリティ(説明責任)を果たすため、株主・投資家の皆様に向けて、経営者が直接、経営方針や事業内容などの説明を行う機会を設けています。説明会は株主様や投資家の皆様から貴重なご意見やご要望を伺うコミュニケーションの場としても活用し、いただいたご意見を今後の課題と捉え、事業活動の参考としています。



■ 株主ご優待制度

フジの株主優待制度は、株主の皆様への日頃のご支援に対する感謝とともに、株主優待制度を通じてフジへのご理解を一層深めさせていただきたいとの考えから、株主優待割引券を中心として実施してきました。2022年4月、マックスバリュ西日本株式会社との経営統合に伴い、株主様によりお得なお買い物を楽しんでいただき、またイオングループのメリットを感じていただける制度へと変更し、次年度より運用を開始いたします。

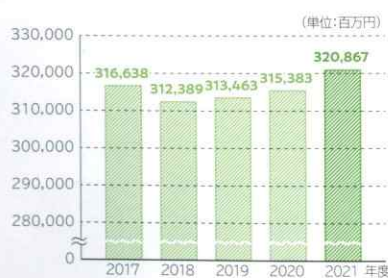
【変更点】

- コース数を4コースから3コースに集約
- 株主優待割引券をイオングループ共通の「株主様ご優待券」に変更
- 付与回数を年2回から年1回に変更

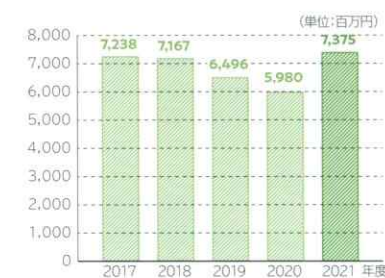
	Aコース	Bコース	Cコース
	株主優待割引券	株主優待割引券	フジネット ショッピングポイント
100株~299株	6,000円分	3,000円分	3,000円相当
300株~399株	8,000円分		
400株~499株	10,000円分		
500株~999株	12,000円分	10,000円分	10,000円相当
1,000株~1,999株	20,000円分		
2,000株~2,999株	40,000円分		
3,000株~3,999株	60,000円分		
4,000株~4,999株	80,000円分		
5,000株~	100,000円分		

■ 財務状況(連結)

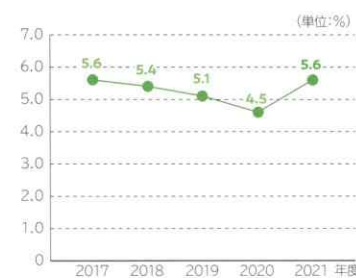
営業収益の推移



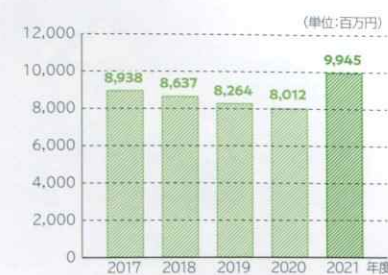
営業利益の推移



総資産経常利益率(ROA)の推移



経常利益の推移



親会社株主に帰属する 当期純利益の推移

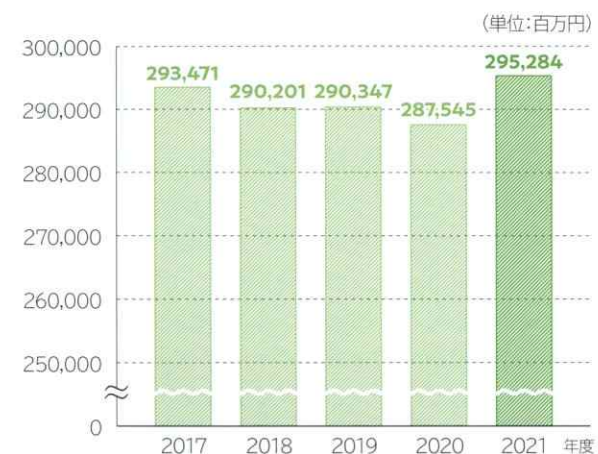


自己資本当期純利益率(ROE)の推移

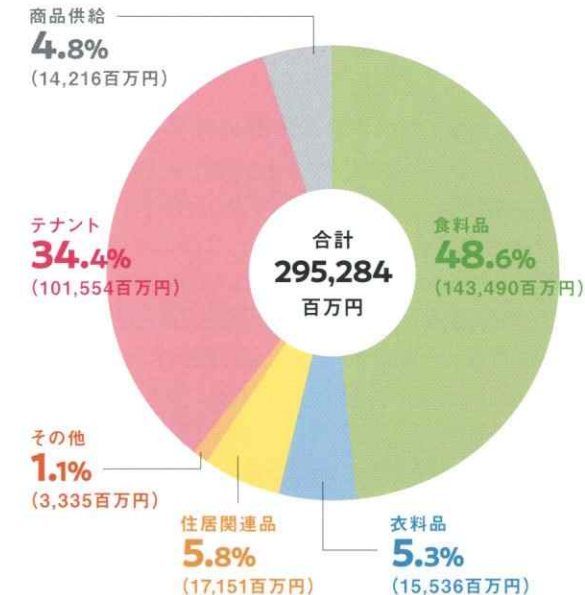


■ 売上高状況(フジ単体/2021年度)

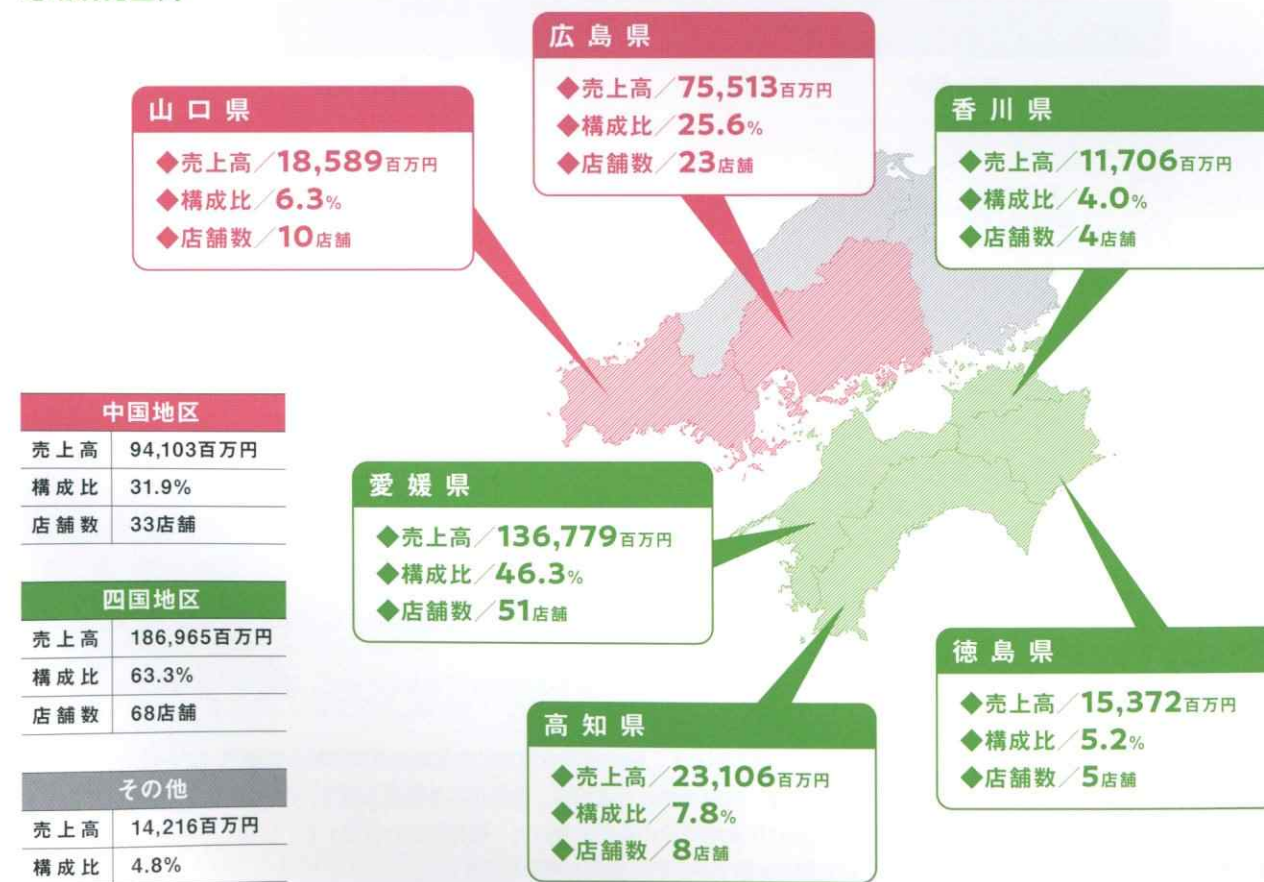
売上高の推移



商品部門別売上高構成比



地域別売上高



ホームページで
IR情報を公開しています。
[https://www.the-fuji.com/
company/ir/index.html](https://www.the-fuji.com/company/ir/index.html)



ガバナンス推進体制

■ コーポレート・ガバナンス

基本的な考え方

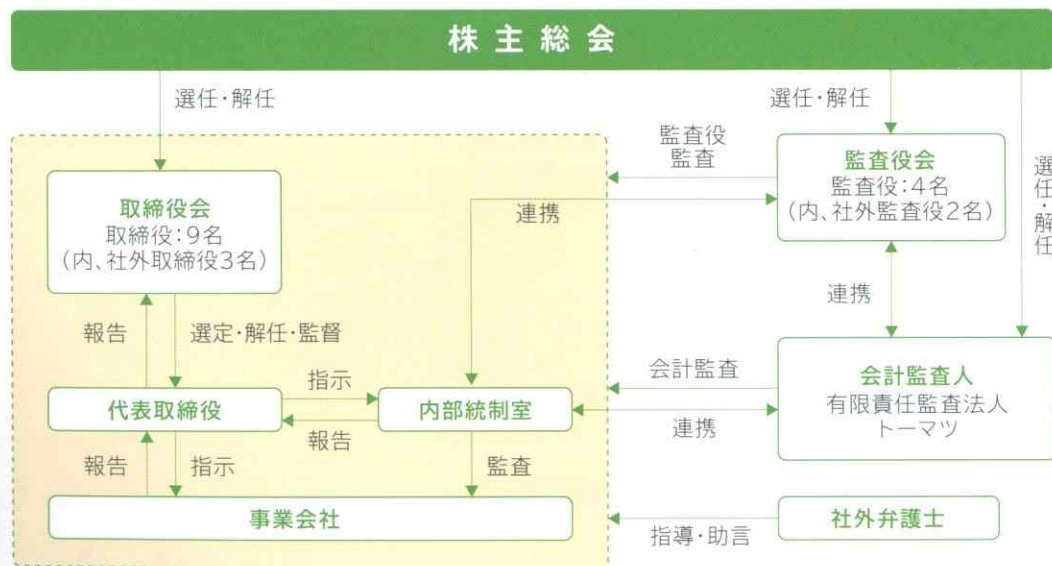
株式会社フジは、経営理念「私たちは、豊かなくらしづくりを目指します。」「私たちは、地域社会の発展に貢献することを目指します。」「私たちは、人々を大切にすることを旨とします。」のもと、自らの持続的成長と企業価値の向上を果たしていくためには、コーポレート・ガバナンスが経営の最重要事項の一つとして認識し、継続的にコーポレート・ガバナンスの強化を図ります。

コーポレート・ガバナンス体制の概要

株式会社フジは、取締役会・監査役会設置会社であり、それぞれの機関を通じて、コーポレート・ガバナンスの充実に努めています。会社の重要事項の決定は「取締役会」を通じて行います。「取締役会」は取締役9名（うち社外取締役3名）で構成され、監査役4名も出席しています。取締役会は原則月1回開催しており、必要に応じて臨時取締役会を開催します。取締役会において、各取締役は、取締役会規程に定める付議事項を審議・決議し、法令遵守と適切なリスク管理の下で取締役の業務の執行について監督を行っています。また、株式会社フジは純粋持株会社として、事業会社における重要な決議事項のフジへの報告を定め、事業会社の適正な業務執行を統治しています。「監査役会」は、監査役4名（うち社外監査役2名）で構成され、原則として年6回開催しており、必要に応じて臨時監査役会を開催します。監査役会において各監査役は、監査に関する重要な事項について報告を受け協議し、決議を行います。各監査役は、監査役会が定めた監査の方針、業務分担に従い、取締役の職務執行の適法性、財産の状況等の監査を行っています。また、事業会社の監査役及び内部監査部門との連携を図ることを目的に「グループ監査業務連絡協議会」を開催し、実効性の高い監査に努めており、統治機能及び内部監査機能の強化を図っています。

会計監査については、有限責任監査法人トーマツと監査契約を締結し、期中を通じて会計監査を実施し、会計に関連する問題について適切に処理される体制になっています。

コーポレート・ガバナンス体制



会社情報の適時開示に係る社内体制について

株式会社フジは、フジ及びグループ会社について、重要な事実や決算情報等を把握管理するとともに、諸法令や証券取引所の定める規程に則った適時適正な開示に努めています。

決定事実に関する重要な情報は、グループ各社の重要な情報も含めて、統合推進本部が社内承認された手続きに基づいて一元的に把握し、関係部署との協議により適時開示の可否を判断します。取締役会とも連携し、社内決定手続きを経て、代表取締役が確認し、開示を実施します。適時開示を必要と判断された会社情報は代表取締役の委任を受けた「情報取扱責任者」が、証券取引所の定める方法により適時開示を行うとともにホームページ上にも開示後速やかに同一資料を開示します。

■ コンプライアンス推進体制

株式会社フジでは、コンプライアンス推進体制の整備・強化に努めており、全ての従業員への行動指針として定めた行動基準の徹底を図るとともに、取引先様をはじめ、当社の従業員、または関係会社の従業員やそのご家族など関係者各位への相談・通報窓口を設置しています。

取引先様とは、法令・ルールの遵守はもちろん対等なパートナーシップのもと、また、従業員には、適正な労働環境の形成など、全てステークホルダー（利害関係者）に対して、公平・公正・誠実に信頼関係を築くことを目指しています。

コンプライアンス相談窓口の設置

社内外にコンプライアンス相談窓口を設置することで、あらゆる方からの問い合わせを受け入れる体制を整え、適宜コンプライアンス基準に反する事案を予防的に統制しています。

社外窓口

☎ **0120-020035** 月～金(祝日除く) 10:00～11:30、13:00～14:30
E-mail | fuji-helpline@shimanami-law.jp
手紙 | 〒794-0043 愛媛県今治市南宝来町二丁目3-7 弁護士法人 しまなみ法律事務所

もしもしダイヤル(従業員の仕事に関する悩み・トラブル)

☎ **0120-459188** 月～土 9:00～18:00
E-mail | fuji-mosimosidial@m.fujicompanies.co.jp
手紙 | 〒790-8567 愛媛県松山市宮西一丁目2-1 (株)フジ もしもしダイヤル

女性専用ダイヤル ☎ **0120-459020** 月～土 9:00～18:00

社内窓口

☎ **0120-459024** 月～金(祝日除く) 9:00～17:00
E-mail | fuji-compliance@m.fujicompanies.co.jp
手紙 | 〒790-8567 愛媛県松山市宮西一丁目2-1 (株)フジ コンプライアンス相談窓口

■ 会社概要 (2022年5月末現在)

会社名	株式会社フジ・リテイリング
代表者名	代表取締役会長 尾崎 英雄 代表取締役社長 山口 普
本部所在地	愛媛県松山市宮西一丁目2番1号
事業内容	総合小売業(食料品、衣料品、日用雑貨品等の小売販売)
設立	2021年(令和3年)11月15日 (2022年3月1日、商号を「株式会社フジ・リテイリング」に変更)
資本金	10百万円
営業収益	3,086億円(2021年度)
店舗数	101店舗 (愛媛県51、高知県8、香川県4、徳島県5、広島県23、山口県10)
従業員数	4,774人(8時間換算)

役員一覧

代表取締役会長	尾崎 英雄
代表取締役社長	山口 普
代表取締役専務	松川 健嗣
専務取締役	森田 英樹
常務取締役	仙波 保幸
取締役	大西 文和
取締役	豊田 洋介
取締役相談役	高橋 正人
取締役	横山 ぬい
取締役	平尾 健一
監査役(社外)	角倉 文明
監査役	金野 修
監査役	寄井 真二郎
監査役(社外)	松本 浩伸

この街に、あつてよかった。



読みやすさに配慮したユニバーサル
デザインフォントを使用しています。



この印刷製品は、環境に配慮した
素材と工場で製造されています。



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C006732

FSC® 森林認証紙を使用しています。

株式会社フジ・リテイリング 総合企画部 広報秘書課

〒790-8567 愛媛県松山市宮西一丁目2番1号 TEL089-922-8115 FAX089-925-6981

<https://www.the-fuji.com>

報告対象
組織

株式会社フジ・リテイリング
(グループ会社の取り組みも含まれます)

報告対象
期間

2021年度(2021年3月1日~2022年2月28日:当社事業年度)
※一部、期間外の活動についても報告しています。

発行日

2022年6月

「フジレポート2022」は、当社の活動内容や企業姿勢をお客様や地域の皆様、取引先様など、より多くの方々にご理解いただくこと、またステークホルダーに適切な情報を開示することを目的としています。この報告書を通じて、今後ともより多くの皆様からご意見をいただき、社会から信頼される企業を目指してまいります。